

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 貝淵正人		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 人間の日常生活の基本として遂行される食事，排泄，整容，更衣，移動などの動作遂行に必要な条件を理解し，日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）に関連する基礎的・応用的知識について修得する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. ADLの概念について説明できる。 2. 基本動作の特徴を分析することができる。 3. 代表的疾患に特有なADL評価を説明でき、プログラムを立案施行できる。 4. 福祉用具の役割についての重要性を説明できる					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	ADLの基本的考え方、領域と分類、ADL支援システム	1	講義 貝淵		
2	ADL評価と動作分析の基礎知識	2	講義 貝淵		
3	福祉用具の基礎知識	4	講義 貝淵		
4	評価の特徴とADLプログラム立案（片麻痺）	3	講義 貝淵		
5	評価の特徴とADLプログラム立案（脊髄損傷）	3	講義 濱口		
6	評価の特徴とADLプログラム立案（RA）	3	講義 大山		
7	福祉用具の具体的な応用立案	4	講義 貝淵		
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	ADL	ー作業療法の戦略・戦術・技術ー	生田宗博	三輪書店	2005年 4725円
	日常生活活動（動作）	土屋弘吉、他		日本医薬薬出版	2002年 6650円
参考書	ADLとその周辺	伊藤利之、鎌倉距子		医学書院	1999年 5900円
その他の資料	プリント				
【評価方法】 出席、期末試験		【履修上の留意点】 動きやすい服装で臨むこと			